

VELUX®

屋内と自然をつなぐ
ベルックスの天窗
— 別荘施工事例 —



STORY1

光のテント

ここは、
森と空に包まれる心地よさを
感じることができる
「光のテント」



「もともとグランピングサイトを作ろうとしていたので、テントをイメージして日常にない空間をつくったら楽しいと思いました。別荘なので、変わった形で面白いものをという要望でした。」

「外と中をつなぐ窓は家の命。天窓は懐が深いのが反対に美しいと思います。」と彦根アンドレア氏は話します。

「別荘は朝が大切。朝起きてキッチンで外が見えたり、朝ゆっくり窓開けて珈琲を飲んだりするのが良いと思いませんか？」

彦根アンドレア氏



「光のテント」

設計：株式会社彦根建築設計事務所 彦根アンドレア 彦根アンドレア氏

施工：スワテック建設株式会社 撮影：畑拓



機能性と安心感

ベルックスは実績と品質、機能性を備えています。「急勾配でも使ったことがあるので安心感がありました。」と彦根アンドレア氏。自然光が降り注ぐだけでなく、日よけや網戸が機能的に備えられていることも評価された点です。1階から2階に風が抜けるので風通しがよいと建て主は話します。「開閉型の天窓が南北についていて、朝起きると全部の天窓を開けて風を通します。」

天窓とソーラーパネル

「天窓と太陽光パネルをつけてオフグリッドにすることまで最初の提案に含まれていました。」と建て主。光でエネルギーをためて、天窓で光のほのいるテント。ソーラーパネルと天窓がシームレスに調和しています。「市街地ではAフレームの許認可が大変なので、ここだけの特別なデザインになると考え、やってみることにしました。」



「雪景色や木々の緑を見るのが好きです。」

自然と快適さの融合

窓は内と外のギャップを埋める重要な役割を果たし、自然とのつながりを日常生活の不可欠な部分にします。キャンプ体験からインスピレーションを得たこの家は、季節の移ろい、周囲の木々の美しい色づき、そして星空の素晴らしい景色を体験することができます。



変わり続ける光と影

天窓を使ったデザイン上、注目すべき点は、一連の天窓が大きな窓のように納められていることです。斜めの壁に使える窓としてベルックス天窓が採用されており、室内に自然光が溢れています。常に変化する影を落として生活空間に深みと個性を加味し、眺望、風通しを得る機能的な連窓になっています。



「ヨーロッパの実家にも天窓があるので天窓がないのが不自然に思えます。」



STORY2

自然と一体化した暮らし

光や風、
庭の木々を感じられる、
自然と一体化した保養所が
できました。



屋内で長い時間を過ごす現代社会において、自然とのつながりを得たこの保養所は、屋内と屋外の従来の境界を覆し、日光の暖かさ、風のそよぐ音、そして外の木々と生活空間を結びつけます。ヒノキ材などの自然素材をふんだんに使用し、自然と調和した美しさを堪能できるパノラマ住宅です。

屋外のような気分になれます

15 台のベルックス天窓の使用は、自然とつながる建物の設計に大きく貢献しました。「豊かな自然を感じながら、雄大な景色を望めるようこの空間を設計しました。」と古河林業株式会社大澤省悟氏は話します。

パノラマビュー

山間部に位置するので、その景色を活かしたいと思うのは自然なことです。広縁の窓からは周囲の風景が広がり、天窓からは青空や雲の景色へとつながるので、あらゆる方向に開放感が生まれています。

「日光や風の流れ、外の木々を近くに感じることができ、
自然と一体化した建物となりました」

古河林業株式会社 大澤省悟氏

「F 社保養所」

設計：古河林業株式会社 第四支店 松戸営業所 設計課 課長代理 大澤省悟氏

施工：古河林業株式会社 撮影：畑拓

格子で落ちる光

建て主は当初から「自然の光が降り注ぐ明るい住まい」を希望していました。ベルックス天窓は建物全体に自然光を採り込むだけでなく、格子から落ちるような光が降り注ぎ、木漏れ日のような感覚を生み出します。

そよ風が流れるメリット

「この辺は湿気が強く、カビが発生しやすいため、建物にもカビが発生しやすいのですが、近くに別荘を持つ友人に聞いていた話では、風が通ると湿気があってもカビが生えにくいそうです。景色が良く、風の通る立地を探しました。ベルックス天窓は南北の両方に開閉できるので、いつでも風通しを感じることができます。」と建て主は話します。

「どこかお寺みたいなイメージがあって、光が落ちて来るイメージで天窓を希望しました」

従来のサッシと比べ、同じサイズの天窓は3倍の光を提供します。



「木々と空、山が見えます。
まるで森の中にいるみたいです」



昼と夜の違いを感じられることはとても大切なことです。





STORY1 光のテント

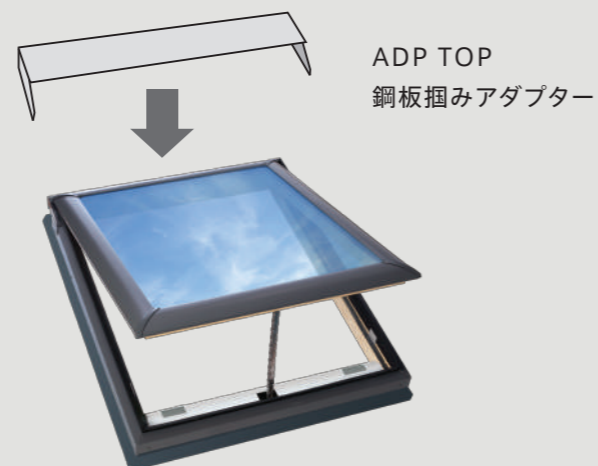
使用天窓(写真上)

VS 手動タイプ M08 x 5 台
FS フィックスタイプ M08 x 7 台
ADP TOP x 12 台

急勾配の屋根で天窓を使用する

「傾斜した壁につく窓」として、急な勾配でジャンプ台や棟包みと絡め、現場で板金をかしめる施工には、板金をつかむための鋼板掴みアダプターをご使用いただけます。

天窓に近接する水上側に太陽光パネルがある場合など、雨水が大量に天窓に流れ落ちることがありますので、写真のように納めることがおすすめです。



ADP TOP
鋼板掴みアダプター



STORY2 自然と一体化した暮らし

使用天窓(写真上)

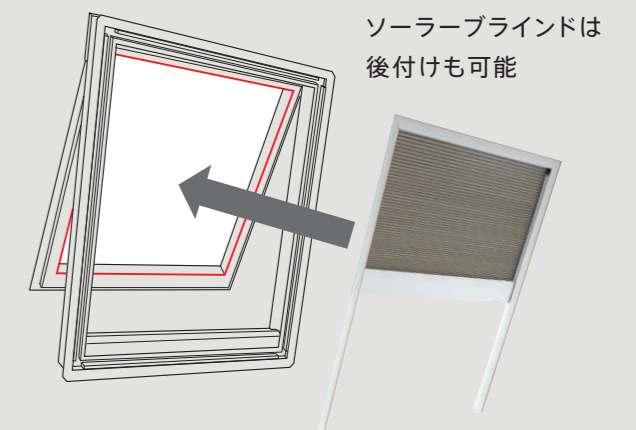
VS 電動タイプ M08 x 4 台
FS フィックスタイプ M08 x 6 台
ソーラーハニカム付き

日差しを遮断する

季節や時間帯によってブラインドが活躍します。写真のように遮光性の高いソーラーハニカムを使用することで、晴天時の強い日差しを遮断することができます。

寝室で天窓を使用する場合、北側の天窓でも5月頃～9月頃までの期間、早朝からまぶしい光が差すので、遮光性の高いソーラーハニカムがおすすめです。

明るさを損なわないソーラーブリーツもご用意しています。ブラインドは開閉する枠への取付なので通風を妨げません。



ソーラーブラインドは
後付けも可能

The VELUX logo is displayed in white capital letters on a red rectangular background.

日本ベルックス株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-23-14

ベニーリーフビル

TEL: 0570-00-8141

www.velux.co.jp

2022年6月第1版第1刷発行「VELUX」「ベルックス」などの会社名および付随する「ベルックスロゴマーク」は、日本ベルックス株式会社、あるいはベルックスグループの登録商標です。V-J018-2206@2025

